

造影検査のご説明

本日の検査は、造影剤を注射しながら行う可能性があります。
造影検査の利点は、病気の状態を、一層はっきりさせることです。

造影検査の問診表

◆気管支喘息はありますか？

ない ・ ある

◆MRI・CT等の造影剤使用検査で副作用はありましたか？

ない ・ ある どのような症状でしたか ()

◆花粉症、アトピー、薬などのアレルギー体質がありますか？

ない ・ ある 具体的な内容 ()

◆腎機能の障害や低下の指摘をされたことがありますか？

ない ・ ある 具体的な内容 ()

◆現在の体重 _____ Kg

一般の薬と同様に、造影剤にも副作用が起こりえます。以下に造影剤の副作用についてご説明致します。

1. 造影剤を注射すると身体が一時的に熱くなりますが、これはご心配ありません。検査終了時にはほとんどの場合改善します。
2. 100人に2～3人ほどの方で、吐き気・不快感・じんましん・発赤・かゆみなどの一時的な症状があります。
3. 体質により、10万人から20万人に1人の割合で、治療を要する重篤な状態や、また極めてまれですが生命にかかわるような場合もあります。
4. まれに注射をした部位に痛みが残る場合があります。
5. 授乳中の方は、造影剤の種類により授乳を避けていただく場合がありますので、**必ず**お申し出下さい。

したがって、無用な造影検査は行われるべきではありません。しかし、造影剤による副作用の可能性を考慮しても、造影検査が必要となるのは、造影検査により明確な画像診断が可能となり、病気をさらに正確に診断し、最良の治療方針を立てるために役立つと判断された場合です。万が一の副作用が現れた場合には、直ちに適切な対応が講じられるように準備を整えており、速やかに処置致します。

造影剤の副作用・必要性を充分にご理解いただいたうえで、下記にご署名をお願い申し上げます。ご質問があれば、お気軽にお尋ね下さい。

説明医： _____

造影検査を受けることに 同意します。

同意しません。

平成 _____ 年 _____ 月 _____ 日

ご署名 _____ (続柄 _____)

(患者様ご本人が未成年の場合は、保護者をご署名下さい。)